



等々力緑地再編整備・運営等事業 事業概要ご説明

川崎とどろきパーク株式会社
川崎市建設緑政局富士見・等々力再編整備室

ご説明内容

1

等々力緑地再編整備・運営等事業

2

本事業のコンセプトと基本方針

3

事業の実施体制

4

運営計画の概要

5

整備計画の概要

6

スケジュール

1 等々力緑地再編整備・運営等事業

■ 等々力緑地

『大型スポーツ施設』 × 『豊かな自然環境』 が融合する
希少性の高い大規模公園



■等々力緑地再編整備・運営等事業とは

施設の老朽化や防災対策の充実、社会環境の変化への対応など、
新たな課題が顕在化

＜2022年2月 等々力緑地再編整備実施計画改定＞

等々力緑地を日常的に賑わう空間となるよう取組を進める
等々力緑地の目指すべき将来像の実現に向け、
再編整備と管理運営を含めた一体の事業として
PFI法に基づく事業手法を活用して実施する

※PFIとは・・・

公共事業を実施するための手法の一つ。

民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法です。地方公共団体が発注者となり、公共事業として行うものです。

正式名称：Private-Finance-Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）

参照：内閣府ホームページhttps://www8.cao.go.jp/pfi/pfi_jouhou/tebiki/kiso/kiso01_01.html

■等々力緑地再編整備・運営等事業とは

提案入札の結果、東急(株)を代表とする企業グループが落札
「川崎とどろきパーク株式会社」を新設・事業開始

【事業区域面積】 約36.6ha

※下水処理施設上部区域等6.9haを追加整備し、43.5haとする予定

【事業方式】

- ①BTO方式：民間が設計・建設⇒市に所有権移転＋民間が施設運営・維持管理
- ②RO方式：民間が施設改修 ⇒民間が施設運営・維持管理

【事業期間】

2023年3月31日～2053年3月31日（30年間）

【事業内容】

統括管理業務、整備業務、維持管理業務、運営業務、自主事業

<整備対象施設>

球技専用スタジアム、（新）陸上競技場、（新）とどろきアリーナ、
スポーツセンター、プール、ストリートスポーツパーク、アクティビティループ（園路）、
キッズパーク（子どもの遊び場）、インクルーシブパーク、芝生広場、
親水空間（レインガーデン等）、植栽、駐車場、自由提案施設（飲食、物販等）等

ご説明内容

1

等々力緑地再編整備・運営等事業

2

本事業のコンセプトと基本方針

3

事業の実施体制

4

運営計画の概要

5

整備計画の概要

6

スケジュール

2 事業のコンセプトと基本方針

つながる
ひろがる
未来をつくる

TODOROKI GREEN PARK



基本方針①

訪れた人を
最高のスポーツと
豊かな自然につなぐ



基本方針②

多様なニーズに応え
彩り豊かな活動を
ひろげる



基本方針③

次の100年に続く
まちの未来への
基盤をつくる



3つの基本方針から8つのアクションプランを策定

つながる
ひろがる
未来をつくる

TODOROKI
GREEN
PARK

基本方針①

訪れた人を
最高のスポーツと
豊かな自然につなぐ

基本方針②

多様なニーズに応え
彩り豊かな活動を
ひろげる

基本方針③

次の100年に続く
まちの未来への
基盤をつくる

1



最高のスポーツと
つながる環境を作る

2



いつでも身体を動かせる
場づくり

3



多様で良好な自然環境
をととのえ、育てる

4



思い思いに過ごせる
場づくり

5



多様なニーズに応え
成長する場づくり

6



まちの安全・安心を
確保する

7



スムーズなアクセスや
園内移動を整える

8



公園を中心としたまちの
繋がりを育てる

ご説明内容

1

等々力緑地再編整備・運営等事業

2

本事業のコンセプトと基本方針

3

事業の実施体制

4

運営計画の概要

5

整備計画の概要

6

スケジュール

3 事業の実施体制

■川崎とどろきパーク(株)

川崎に根ざす企業と多様な専門性を有する企業の9社により設立



KAWASAKI TODOROKI PARK



東急

FUJITSU



Marubeni



「建てる」を超え、未来を生みだす。



3 事業の実施体制

■ 管理運営体制

等々力緑地全体の総合的な維持管理・運営を実施する体制を構築



ご説明内容

1

等々力緑地再編整備・運営等事業

2

本事業のコンセプトと基本方針

3

事業の実施体制

4

運営計画の概要

5

整備計画の概要

6

スケジュール

4 運営計画の概要

■ 運営計画のポイント

多様なニーズに応える自主事業による
販わいの創出とコミュニティの醸成



マルシェイメージ



コミュニティー醸成イベントイメージ

地域・人と“つながる”イベントの開催

ま

新たな公園時間の提供

憩 × 働

自然の中で
癒される時間



活 × 学

いつまでもイキイキ
& 成長する時間



販 × 憩

家族との
大切な時間



案内・情報発信

総合的なウェブサイト・案内窓口の開設 による案内機能・情報発信の強化

<ウェブサイト>

等々力緑地の総合的な案内・情報発信をするウェブサイトを開設

<QRコード>



<https://www.kawasaki-todoroki-park.co.jp>



<問い合わせ窓口>

総合案内：個別施設以外のお問合せ（緑地全般・事業関連・イベント・緑地活用相談）
※時間外の窓口として、ウェブサイトに「問い合わせフォーム」を設置

個別施設案内：各施設別のお問合せに対応

とどろきアリーナ、陸上競技場・補助競技場、テニスコート、サッカー場、
等々力球場・運動広場、駐車場

ご説明内容

1

等々力緑地再編整備・運営等事業

2

本事業のコンセプトと基本方針

3

事業の実施体制

4

運営計画の概要

5

整備計画の概要

6

スケジュール

5 整備計画の概要

■ 緑地全体デザイン

アクションプラン実践の場として緑地全体をデザイン



- 水と緑の環境を創出
- メイン動線のアクティビティーループを整備
- 多様な施設の配置による豊かなゾーンを演出
- 活動同士が相互に関与しあうような公園

■ 球技専用スタジアム

感動、賑わい、誇りを創出する **Emotional Stadium**



観客と競技者の感動と熱狂を喚起するスタジアム

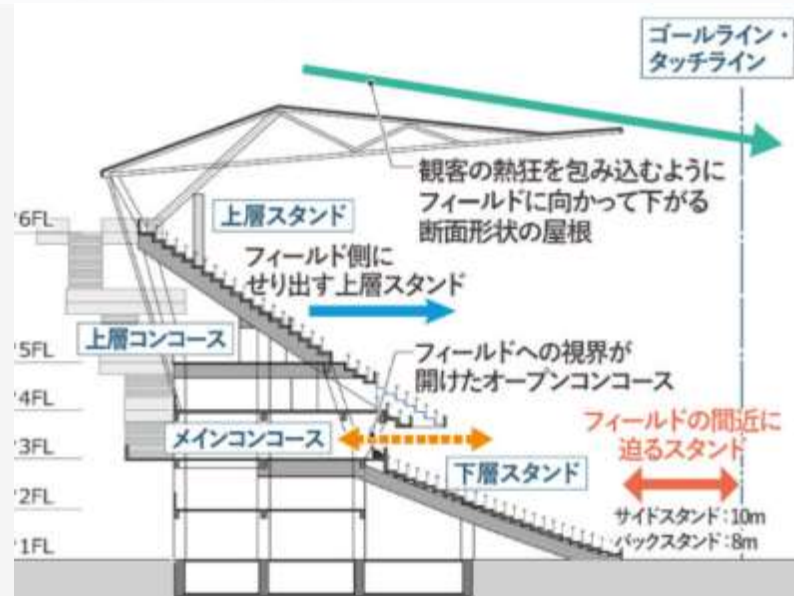
人々の賑わいと親しみを醸成する公園に開かれたスタジアム

クラブ、地域、人々の誇りを共に育むスタジアム

観客と競技者の一体感を創出するスタンドにより、 新たな観戦環境・価値を提供



計画収容人数：約35,000人



観客と競技者の一体感を創出するスタンド



フィールド目線が体感できるゼロタッチ席



フィールドとつながるメインコンコース

※今後の検討により変更する可能性があります

■ (新) とどろきアリーナ

歴史・賑わい・想いをつなぐ 「れんそう」のアリーナ



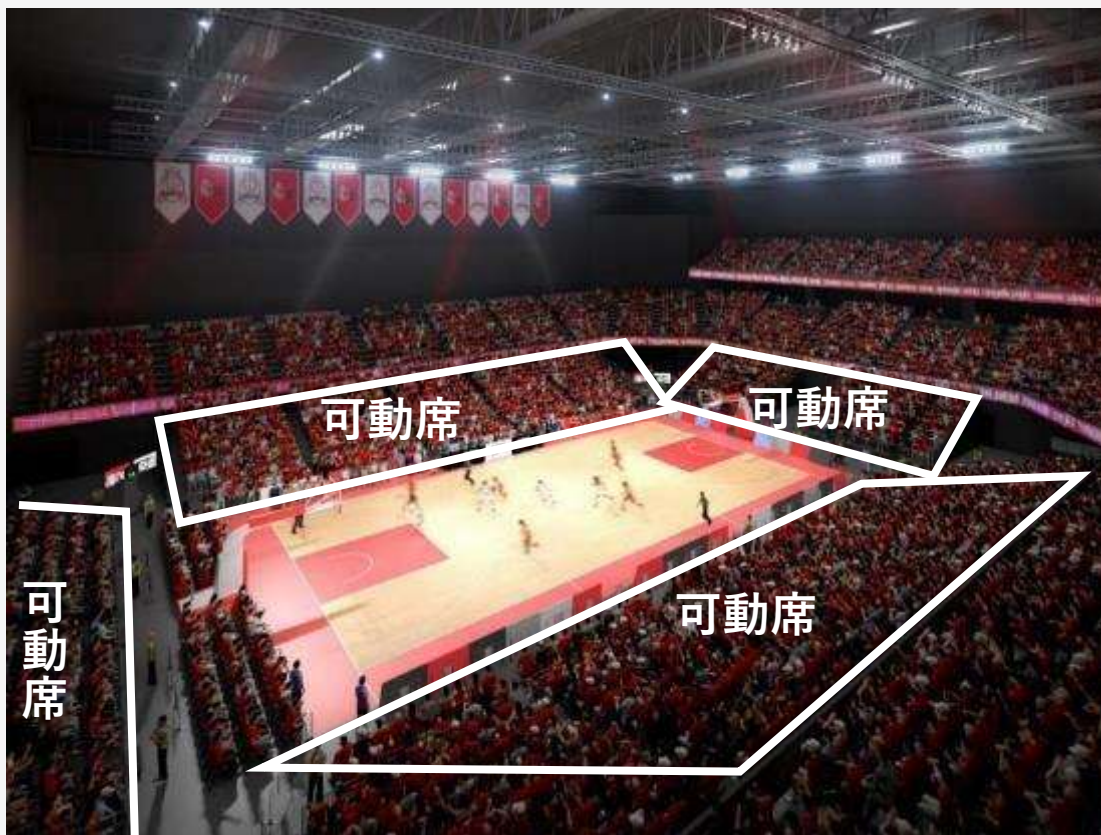
歴史をつなぐ「連層」のアリーナ

賑わいをつなぐ「連奏」のアリーナ

想いをつなぐ「連想」のアリーナ

様々なイベントに転換可能なフレキシブルなアリーナ

多彩な観戦環境・ホスピタリティーサービスの提供



可変的な観客席計画（スポーツ利用時の観客席のイメージ）
計画収容人数：約5,000人



スポーツ興行と音楽興行等の
両方に対応できるU字型アリーナ



多目的に活用できるスペースの確保

ご説明内容

1

等々力緑地再編整備・運営等事業

2

本事業のコンセプトと基本方針

3

事業の実施体制

4

運営計画の概要

5

整備計画の概要

6


スケジュール

完成した施設を段階的に供用開始

運営：2023年度～2052年度（30年間）

整備：2023年度～ 設計・環境影響評価手続き等
 2026年度前後～ 整備工事着手（完成した施設から順次供用開始）
 2029年度末 整備工事完成

内容 / 年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	～	2052
環境影響評価手続き	→								
調査・設計	→								
整備工事(建築物等)				→					
整備工事(公園基盤)				→					
維持管理・運営	→ (完成した施設は段階的に供用開始し、維持管理・運営に移行)								



“つながる”
“ひろがる”
そして “未来をつくる”

～TODOROKI GREEN PARK～